

日本農業を 壊滅させる TPP 断固阻止！

■環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)の 農業への影響 (農林水産省試算)	
農業生産	4.1兆円減
食料自給率	40%→14%へ低下
農業の多面的機能	3.7兆円喪失
実質GDP	7.9兆円減
雇用	340万人減
(即時関税撤廃を前提)	

TPP(環太平洋経済連携協定)への参加について、民主党は9日に意見集約、10日にも野田首相が記者会見で交渉参加を表明しようとしています。全国で怒りが渦巻く中、徹底した情報隠しで強行するなど言語道断。阻止あるのみ！

●失業と貧困、格差の輸出

関税ゼロで、アメリカやオーストラリアの農産品が入ってくれば、食料自給率は、今の39%から14%に落ち込み、340万人が失業すると、農水省も試算しています。

悪影響は農業ばかりではありません。アメリカと同じレベルの規制緩和や民営化が要求され、食の安全基準や、医療・保険、賃金・雇用などに、その影響が及びます。

そのアメリカでは失業と貧困、格差拡大に対する大規模な抗議のデモが広がりました。結局TPPは、アメリカが日本に市場を開放させて輸出を増やし、爆発する雇用問題を日本に押しつけるためのもの。日本への失業と貧困、格差の輸出です！

そして韓国では、アメリカとのFTA(自由貿易協定)の批准に(ウラに続く)



韓国では
FTA反対でデモが再燃！

ニューヨークのウォール街周辺では失業や貧困、格差拡大に対する抗議のデモが続いている。抗議はボストン、ロサンゼルス、シカゴなど、全米各地に広がった。TPPへの参加を迫るアメリカのねらいは輸出増による雇用の拡大。日本への失業と貧困、格差の輸出だ。

韓国ではアメリカとのFTA(自由貿易協定)に反対する大規模なデモが再燃し、批准が見送られた。



「韓米FTA阻止」李明博政権審判のプラカード(3日、韓国国会前)

TPPへの参加を迫るアメリカの
素顔は貧困大国！

三里塚芝山連合空港反対同盟

(連絡先) 事務局長・北原鉦治 千葉県成田市三里塚115
http://www.sanrizuka-doumei.jp/

(オモテから)

反対する大規模なデモ。

F T Aに向かって規模拡大を進めたはずが、15年で穀物自給率が半減し、農家負債が激増、——この韓国に「負けるな！」とTPPを急ぐ日本政府は愚の骨頂！

●農政が農業をつぶす国

新自由主義による規制緩和と民営化は、首切りと賃下げ、非正規雇用による格差社会をうみ出しました。それは農業において最も激しく進行し、前川レポートと食管制廃止、農基法改悪を節目に耕作放棄地を激増させました。国の農政が、農業をつぶし、農地から農民を追い出してきたのです。

あげくに企業参入のための農地法改悪。農業は儲けの手段ではない！

●「国益」の言葉のウソに騙されない

いま、すべての人々に「国策」「国益」との対決が問われています。「国益」を掲げて農民から農地を奪い、「国益」を掲げて労働者の首を切り、「国益」を掲げて原発を存続させ、沖縄・辺野古に基地を強制する、——「国益」は財界と資本のためであって人々のためのものではありません。

「実力阻止」が私たちのスローガンです。ともに闘いましょう！

「国策」成田空港建設と闘い続けて45年！ 身体を張って農地を守る



成田空港建設に反対する私たち三里塚の農民は、今も不屈に闘い続けています。「国策・公共事業」の名の下に、巨額のカネをばらまいて、農地を強制収用する国に対する、一貫した抵抗闘争です。このため空港は欠陥だらけ。滑走路や誘導路のど真ん中に畑や家屋、共有地があり、完成できません。

原発—— 子どもの命の危険

3月11日のかつてない大規模災害と原発事故は、私たちの意識を一変させました。「クリーン」「安全」すべてウソ！子どもの命さえ顧みず、被ばく線量を操作する国のあり方を根本からひっくり返さなければなりません！

市東さんの 農地取り上げ 阻止！

原発もTPPも、成田の農地強奪も根はひとつ。新たな農地取り上げに対して、私たちは身体を張って闘います。団結して闘えば、必ず勝利できるのです！

【上図】市東さんの畑と現闘本部建物（今年8月に機動隊を動員して破壊）によって「H」の字に曲がる成田空港の誘導路
【写真】放射能をまき散らす福島第1原発。全国54基の原発も、沖縄の基地も成田空港も、すべて「国策・公共事業」の名のもとに、買収と機動隊の暴力で造られてきた

原発もTPPも絶対反対！